点検・整備チェックリスト

✓：異状なし　A：調整、注油　△：修理　×：交換　C：掃除その他　ー：装着されていない部品

点検の個所	点検項目	販売時	1回目 2ヵ月	2回目 6ヵ月	3回目 1年	4回目 2年	5回目 3年	6回目 4年	7回目 5年
フレーム・フロントフォーク	変形、折損、ヒビ割れはないか	■							
	ヘッド、ハンガー小物にガタや摩耗はないか	■							
ハンドル	固定は確実か、高さ、ハンドルステムの挿入量は適正か								
	変形、折損、軽く回転するか	■							
どろよけ	変形、取付は適正か	■							
キャリヤ	変形、ガタ、折損はないか	■							
車輪	固定は確実か、フレーム、フロントフォークに接触していないか								
タイヤ	切傷、摩耗はないか、空気圧は適正か								
リム	変形、振れはないか	■							
スポーク	ゆるみ、折れ曲がり、切損はないか	■							
ハブ	ハブナットのゆるみ、玉押しのガタはないか	■							
ギヤクランク	ギヤ板の振れ、ヒビ入り（軽合金）、曲がり、ガタはないか、締付は充分か	■							
ペダル	固定は確実か、取付部（クランク側）にバリはないか								
	軸の回転は正常か、変形、カシメ、ねじのゆるみ、ガタ、折損はないか	■							
ブレーキ	効き具合は適正か								
	レバーの引き代に余裕はあるか、ワイヤ類にサビやほつれはないか	■							
	ブレーキゴム類（ブレーキブロック、パッド、ライニング）の減りはないか	■							
変速機	作動は確実か								
ベルト	ヒビ入り、歯欠け、折損はないか、張りは適正か	■							
チェーン	油切れ、たるみはないか、ギヤとの噛み合わせは適正か	■							
サドル	固定は確実か、高さ、シートポストの挿入量は適正か								
	取付位置、ガタ、損傷はないか	■							
ランプ	点灯、照射は正常か、破損はないか、コード切れはないか								
リフレクター	汚れ、ガタ、破損はないか、点灯（テールランプ付）は正常か	■							
スタンド	作動は正常か、ガタ、変形、折損はないか	■							
ベル・ブザー	作動は正常か、変形、ゆるみはないか、よく鳴るか								
錠	作動は正常か、変形、ゆるみはないか								
その他	各部のねじのゆるみ、損傷はないか	■							
注油個所	チェーン、ワイヤ、変速機、ブレーキレバー、スタンドの支点、サークル錠キー穴、ガチャリンコ	■							
実施店　実施者氏名	実施日		年／	年／	年／	年／	年／	年／	年／
保証書に印字されている品番および車体番号を転記してください　品番　車体番号	確認印		㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞

パナソニック サイクルテック株式会社

〒582-8501　大阪府柏原市片山町13番13号

© Panasonic Cycle Technology Co., Ltd. 2010

NYT1206 G0810-0

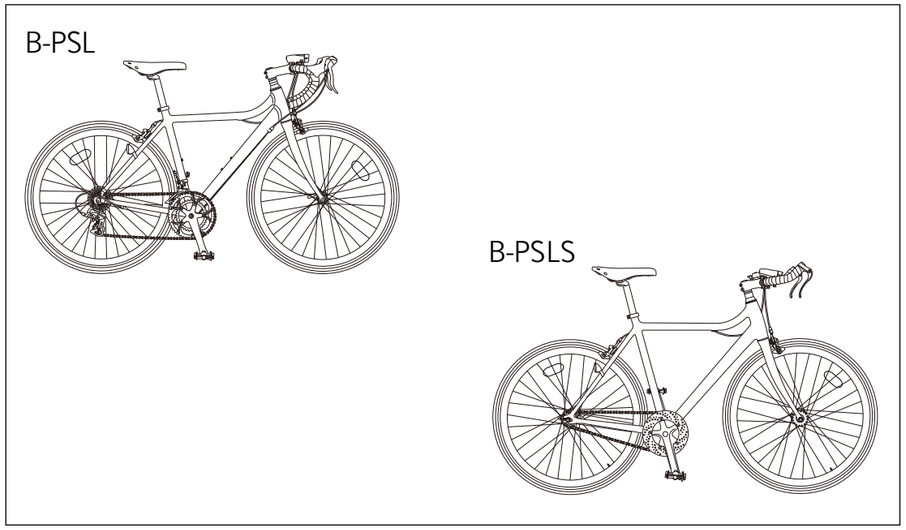
Panasonic®

取扱説明書

ロードモデル

スライド

品番 B-PSL48
B-PSL53
B-PSLS48
B-PSLS53



※イラストは、イメージ図を使用しています。形状やデザインが、お買い上げいただいた自転車と異なる場合があります。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「**安全上のご注意**」**（2～7ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
- お子様がお使いになる場合は、保護者の方がこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい乗りかたをご指導ください

お願い

- この自転車を新聞配達など、業務用としてご使用にならないでください。
- 安全のため、ヘルメットの着用をお勧めします。
- 万が一の事故に備え、対人・対物賠償保険に加入されることをお勧めします。
- 必ず、販売店で防犯登録の申請手続きを行ってください。（法令で義務付けられています。）

保証書別添付

もくじ

乗るまえに

- 安全上のご注意…… 2
- 各部のなまえ…… 8
- 乗るまえの点検と調整…… 11
- 正しい取扱い方法…… 18

必要なとき

- 保管／廃棄…… 27
- お手入れ／注油について…… 28
- 定期点検…… 30
- 盗難補償／アフターサービス…… 31
- 自転車安全基準／スポーツBAAマーク…… 32
- オプション（別売部品）…… 33
- 仕様…… 34

安全上のご注意(1)

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

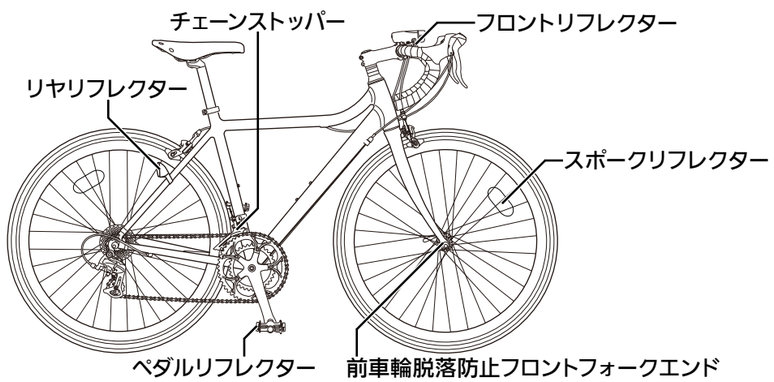
⚠危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

⊘	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

■安全にご使用いただくために

専門的な技術と知識が必要です。わからないことは、販売店でご相談ください。
乗る前には必ず点検を行ってください。(☞ 11 ～ 17 ページ)



⚠警告

■改造や分解、また指定以外の注油はしない

分解禁止

注油禁止

部品の破損や、ブレーキが効かなくなって転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

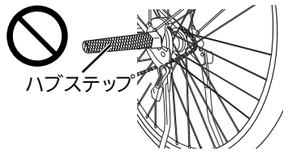
■サドルは「はめ合せ限界標識」が見える状態で乗らない

シートポストの折れにより、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

■調整後の締め付けを確認せずに乗らない(車輪の脱着やサドルなど)

車輪などが外れて、転倒によるけがのおそれがあります。

■ハブステップなどの突出物を装着しない



歩行者などに、危害をおよぼすおそれがあります。

■一般(普通) 道路以外で走行しない

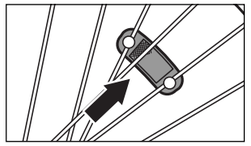
悪路や荒地で使用すると事故発生によるけがのおそれがあります。
●この自転車は一般(普通) 道路専用です。

■安全装置は取り外さない

外したまま使用すると、事故発生によるけがのおそれがあります。

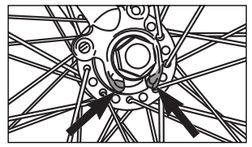
■安全装置

スポークリフレクター



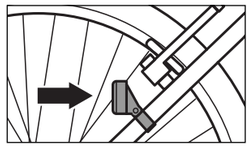
横からの光を反射します

前車輪脱落防止
フロントフォークエンド



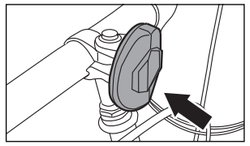
前車輪の脱落を防止します

リヤリフレクター
(後部反射器)



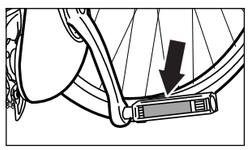
後からの光を反射します

フロントリフレクター
(前部反射器)



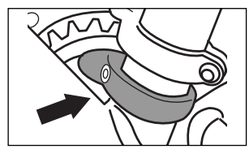
前からの光を反射します

ペダルリフレクター



前後からの光を反射します

チェーンストッパー



チェーンの脱落を防止します。

※リフレクターが破損した場合は、直ちに新品と交換してください。
(リヤリフレクターが破損したままでの夜間乗車は法令違反になります。)

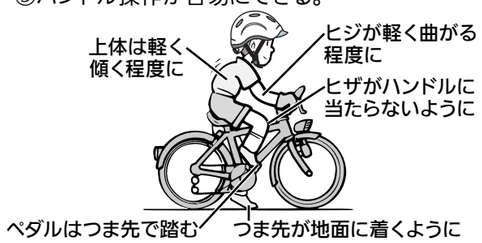
安全上のご注意(2)

必ずお守りください

■乗るまえに

まず体に合わせてください

●図のように販売店で調整してもらってください。
●操作して確認してください。
①円滑なペダリングができる。
②ブレーキや変速機が確実に操作できる。
③ハンドル操作が容易にできる。

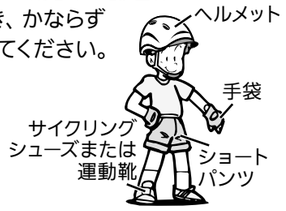


必ず点検をしてください

●必ず、取扱説明書をよく読んで点検してください。
●わからないときは販売店に相談してください。
●未組立及び未調整の自転車は使用しないでください。

安全な服装で乗ってください

(車輪に巻き込まれやすい服装はしない)
●ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み、ギヤへの引っかかり等を防止するために、チェーンやギヤがむき出しの自転車に乗るときは、ズボンの裾をズボンバンドで止めてください。
●児童(13 歳未満の者)・幼児の保護者は、お子様が乗車するとき、かならずヘルメットをかぶらせてください。



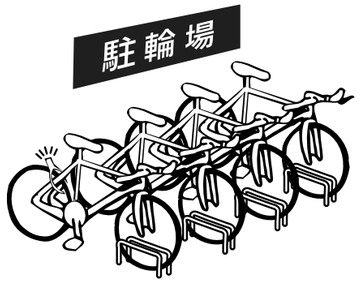
乗る練習は必ず行ってください

●練習を空地や公園など安全な場所で、行ってください。
●よく練習してから一般道路でお乗りください。

■乗ったあとは

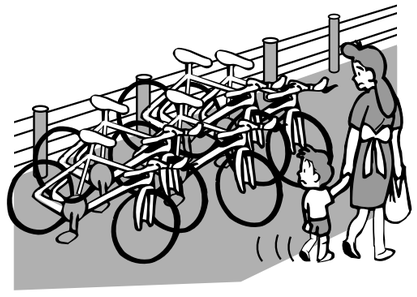
決められた場所に駐輪してください

●駐輪するときは、他の人に迷惑にならないよう、決められた場所にとめましょう。
●盗難防止のため、必ず鍵をかけましょう。



自転車放置禁止

●自転車の放置は、他の人に迷惑をかけるばかりでなく、環境悪化の原因となります。絶対に止めましょう。

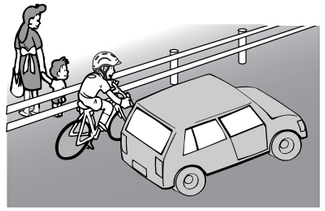


■自転車の交通安全ルールを守りましょう

※違反すると、道路交通法の罰則を受けることがあります。

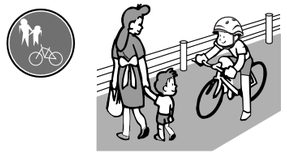
自転車は、車道通行が原則です

●歩道と車道の区別のあるところは自転車は車道の左端に寄って通行しましょう。



次の様な場合は、歩道通行ができます

(その時にも歩道は歩行者優先、車道よりを徐行)
●自転車歩道通行可の標識等で指定されている場合。
●運転者が児童、幼児、70歳以上の場合。
●車道や交通の状況からみてやむを得ない場合。

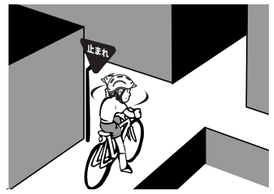


30 kg を超える荷物を積載しない

●ただし、自転車や取扱説明書等へ積載条件の記載がある場合はそちらを守ってください。

交差点では一時停止と安全確認を

●一時停止の標識を守り、広い道に出る時は、徐行と安全確認を。
●信号機がある場合は、信号を必ず守りましょう。

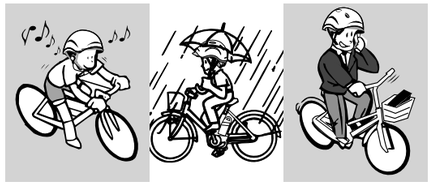


夜間やトンネル内、視界の悪いときは、ランプを点灯して通行しましょう

●夜の無灯火運転は交通違反です。
●暗いところではランプを点けて通行しましょう。

次の様な運転はしない

●ヘッドフォンを使用しながらの運転。
●傘さし運転。
●携帯電話を操作しながらの運転。



二人乗り、並進、飲酒運転は禁止

● 6歳未満の子供を幼児用座席に一人乗せる場合等を除き、二人乗りは禁止です。(幼児二人同乗用自転車を除く)
●「並進可」標識のある場所以外は並進は禁止です。
●飲酒運転は禁止です。

安全上のご注意(3)

必ずお守りください

けがをせずに、他の人にも迷惑をかけないために、乗り方や交通ルールを守りましょう。
安全のため、ヘルメットの着用をおすすめします。

乗るまえに

交通事故を防ぐために

自動車や子供に注意！
安全を確認し、乗りましょう

車の横を走るときに！

開くドアや人の飛び出しに注意する

学校や公園が近くにあるときに！

子供の飛び出しに注意する

交差点を通るときに！

左折車に巻き込まれないように注意する

転倒事故を防ぐために

こんな時

■雨・風・雪のひどいときは乗らない

バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

■合図以外は、ハンドルから手を離さない

バランスがとりにくく、転倒によるけがのおそれがあります。

こんな場所

■滑りやすいところでは乗らない(積雪や凍結した道、鉄板やぬかるみなど)

スリップして、転倒によるけがのおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

■凹凸の激しいところを走らない(歩道の段差や、溝など)

フレームや車輪の損傷や転倒によるけがのおそれがあります。

●降りて、押して歩いてください。

こんな乗り方

■巻き込みやすい物を車輪やギヤに近接させて乗らない(長いスカートやマフラー、傘やペットのひもなど)

車輪やギヤに巻き込まれ、転倒によるけがのおそれがあります。

■かさやステッキ、釣りざお等を車体に差し込んだり、釣り下げたりして乗らない

車輪に巻き込んだり、他の人や物にぶつけて事故や転倒によるけがのおそれがあります。

■土踏まずやかかとでペダルを踏まない

カーブでつま先が前車輪にあたり転倒によるけがのおそれがあります。

■滑りやすい靴や、かかとの高い靴、厚底靴などをはいて乗らない

ペダルから足が外れ、転倒によるけがのおそれがあります。

■手やハンドルに荷物をかけたり、ペットをつながない

荷物やひもが、車輪に巻き込まれたり、バランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。

■カーブで曲がる側のペダルを下げない

ペダルが地面と接触し、転倒によるけがのおそれがあります。

こんな使い方

■走行以外に使わない(踏み台代わりなど)

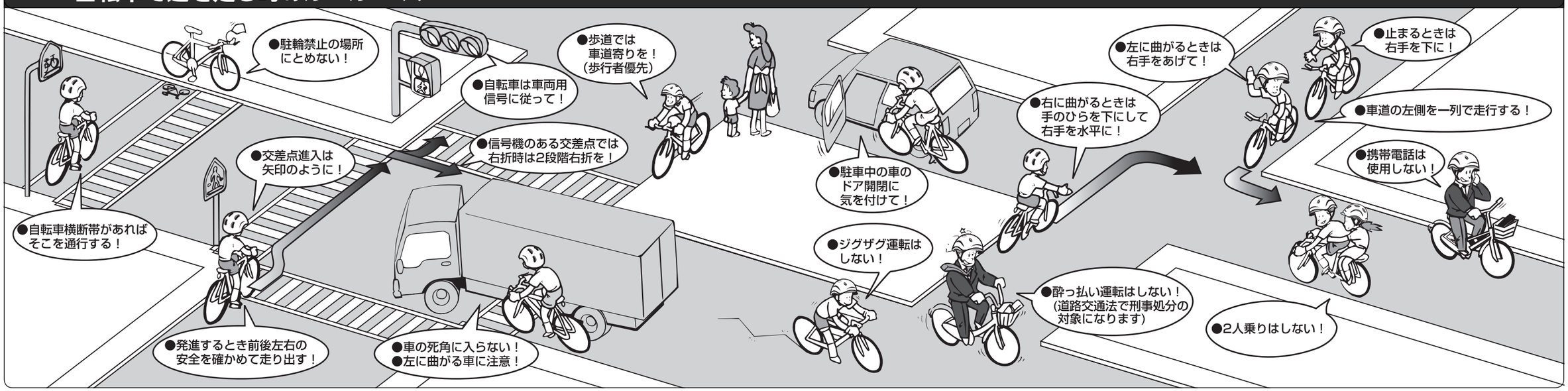
転倒によるけがのおそれがあります。

■スポークの間に固形物(ボールなど)を入れて走らない

車輪に巻き込まれて転倒によるけがのおそれがあります。

乗るまえに

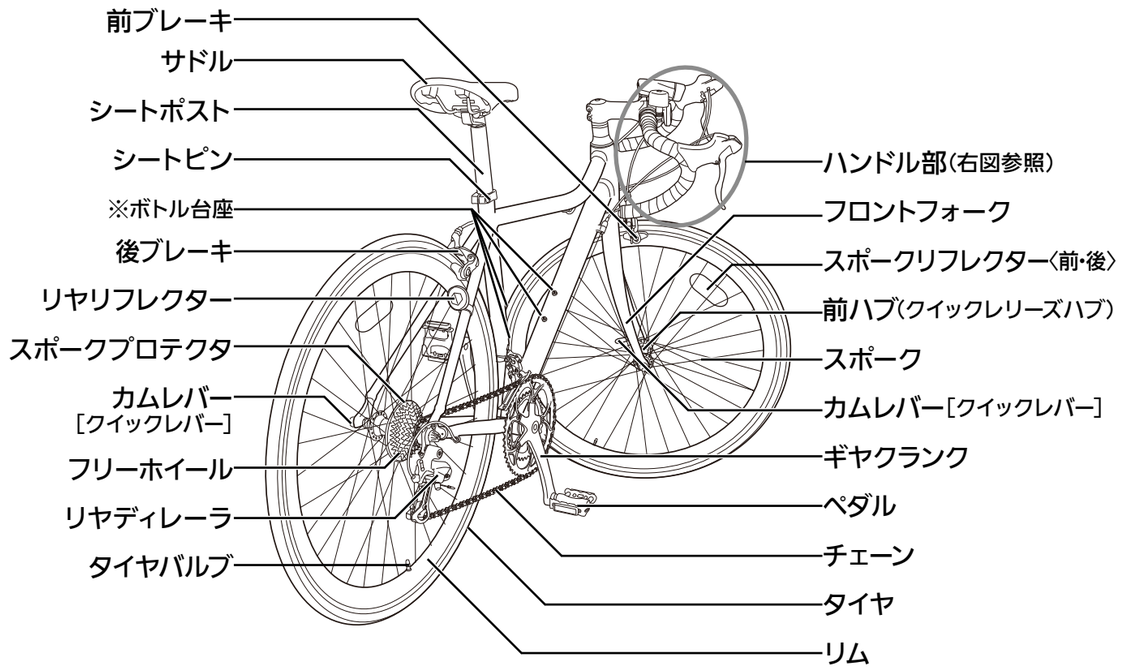
自転車で道を走る時のルール・マナー



各部のなまえ(1)

■ B-PSL

※印はオプション取付け部

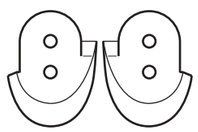


■付属品

自転車本体の他に下記のものがすべて含まれていることをご確認ください。

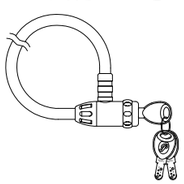
●取扱説明書　●保証書　●保証書メーカー控(返送用) 封筒

●パッドスペーサー〈PSL のみ〉



ブレーキレバーの開きの調整に使います。調整は販売店に依頼してください。

●ワイヤ錠　●スペアキー(2 本)

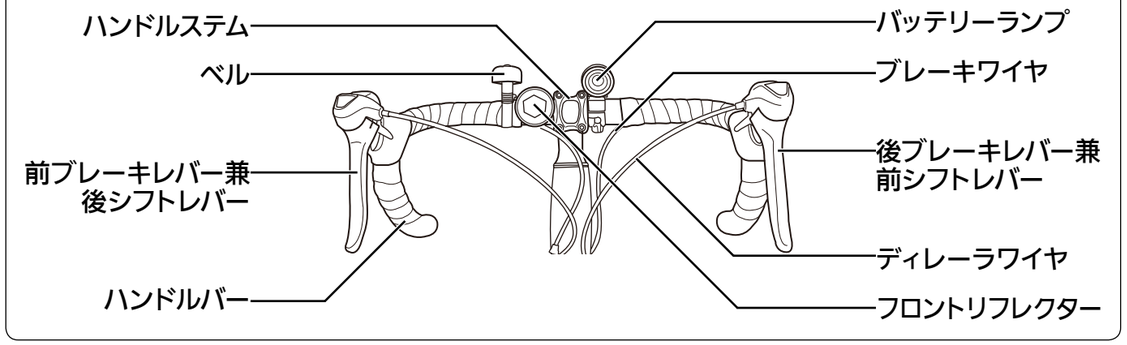


⚠警告

■走行時、ワイヤ錠を車輪の近くやハンドルにぶら下げない

スポークに巻き込んだり、ハンドルがとられて転倒によるけがのおそれがあります。

■ハンドル部

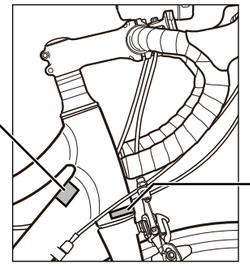


■車種品番

●車種品番の見方
(例 : B-PSL48 の場合)

B-PSL48 B

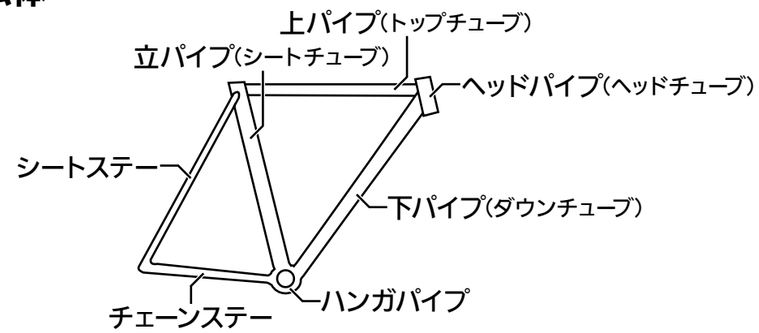
車種品番　色



■車体番号

防犯登録に必要で、9 文字(数字と英字) で表示しています。

■フレーム体

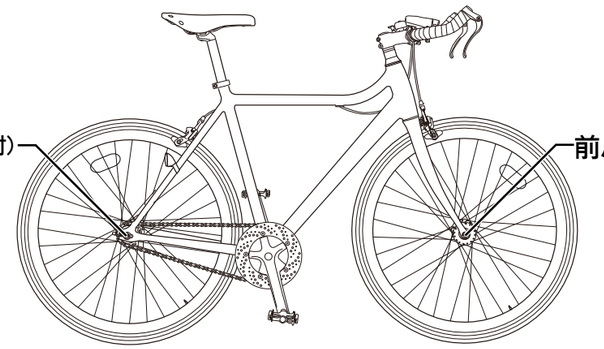


乗るまえに

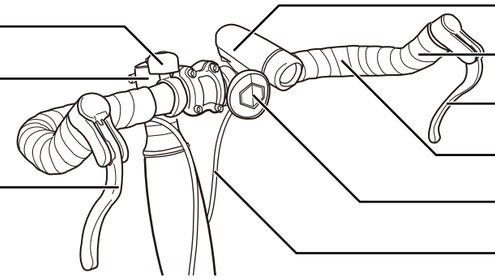
各部のなまえ(2)

■ B-PSLS

※ボトル台座はありません。



■ハンドル部

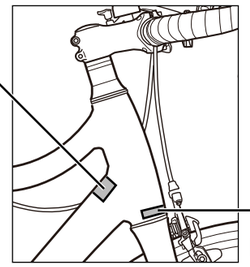


■車種品番

●車種品番の見方
(例:B-PSLS48 の場合)

B-PSLS48 B

車種品番　色



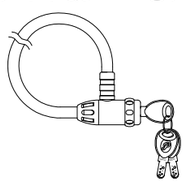
■車体番号

防犯登録に必要で、9 文字(数字と英字) で表示しています。

■付属品

自転車本体の他に下記のものがすべて含まれていることをご確認ください。

●取扱説明書　●保証書　●保証書メーカー控(返送用) 封筒
●ワイヤ錠　●スペアキー(2 本)



⚠警告

■走行時、ワイヤ錠を車輪の近くやハンドルにぶら下げない

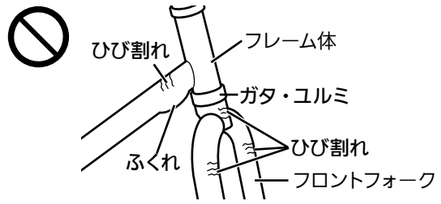
スポークに巻き込んだり、ハンドルがとられて転倒によるけがのおそれがあります。

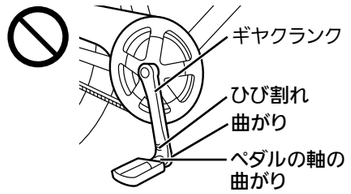
乗るまえの点検と調整(1)

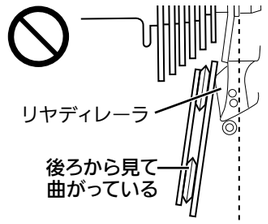
安全にご乗車いただくため、乗るまえにつぎの点検、調整と走行テストを実施する習慣をつけましょう。

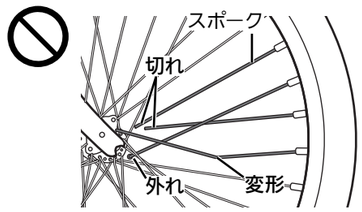
⚠警告

■各部にガタやユルミおよび、変形・ひび割れ等があるときは乗らない









折れて転倒による、けがのおそれがあります。
●ひび割れや変形を見つけたら、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検、交換をしてください。
●フロントフォークは衝突などの強い力を受けたとき、変形することによって乗員や車体への衝撃を和らげるように設計してあります。衝突や転倒など強い衝撃が加わった後は、フロントフォークに変形やひび割れなどの異常がないか点検してください。
●スポークが 1 本でも切れたまま使用を続けると、他のスポークに負担がかかり寿命が短くなります。切れたスポークは直ちに交換してください。できれば、すべてのスポークを交換されることをお勧めします。
●ハンドルを締め付けてもガタ・ユルミがあるときは、すぐに乗るのを止めて、販売店で点検をしてください。
●車輪に振れが出た場合、販売店にスポークテンションの調整をご依頼ください。

■乗るまえの点検は、必ず実施する

事故や転倒によるけがのおそれがあります。
●前後ブレーキの効き、作動の点検をしてください。
●ハンドル・ハンドルステムが、確実に固定されているか点検してください。
●前後車輪が、確実に固定されているか点検してください。
●前後タイヤの空気圧が適正か点検してください。
●ワイヤ類(ブレーキ、変速機) がたるんでいないか確認してください。

■点検で変形や曲がり、ひび割れなどの異常があったときは、乗車しない

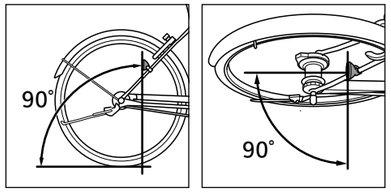
事故や転倒によるけがのおそれがあります。
●異常があったときは販売店にご相談ください。

乗るまえの点検と調整(2)

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

■自転車部品の点検

リヤリフレクター
◎割れや、汚れはないか？
◎反射面の角度は適切か？



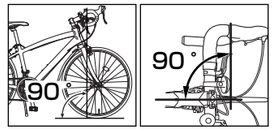
サドル・シートポスト（☞ 15 ページ）
◎サドルに座って、両足が、地面に着くか？
◎はめ合せ限界標識が、見えていないか？
◎シートポストの固定は、確実か？

ハンドル・ハンドルステム（☞ 13 ページ）
◎ハンドルの固定は、確実か？

バッテリーランプ
◎点灯するか？　◎がたつきは、ないか？
◎取付角度は適切か？

ベル
◎よく鳴るか？　◎固定は確実か？

フロントリフレクター
◎割れやがたつき、汚れはないか？
◎反射面の角度は適切か？



バーテープ〈左右とも〉
◎破れはないか？
◎エンドキャップは確実に固定されているか？

ブレーキレバー〈前後とも〉（☞ 14 ページ）
◎よく効くか？
◎ワイヤのさびやほつれはないか？
◎固定は確実か？　◎作動は円滑か？

スポークリフレクター〈前後とも〉
◎割れやがたつきは、ないか？

ブレーキ（ブレーキブロック）〈前後とも〉（☞ 14 ページ）
◎すりへっていないか？
◎異物は付いていないか？

カムレバー〈PSL〉, ハブナット〈PSLS〉
◎車輪にがたつきは、ないか？

ペダル・ギヤクランク
◎がたつきは、ないか？
◎ひび割れはないか？

ペダルリフレクター
◎割れやがたつき汚れは、ないか？

チェーン
◎空回りしないか？
◎小石等が挟まってないか？
◎歯飛びや異常な音（バリバリ音等）はないか？
◎油切れはしていないか？

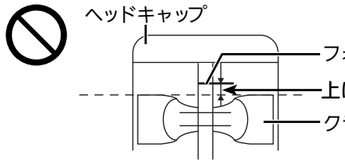
リヤディレーラ〈PSL〉
◎後ろから見て曲がりはないか？

車輪〈前後とも〉
◎リム……振れ、変形はないか？
◎スポーク…曲がり、折れはないか？
◎ハブ……がたつきはないか？
◎タイヤ……摩耗、切傷はないか？
異物は付いていないか？
空気圧は適正か？（☞ 16 ページ）

■ハンドル

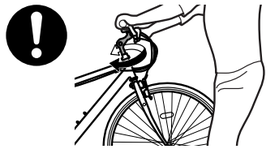
⚠警告

■フロントフォークステム上端部を上側のクランプボルト（図の点線位置）より下げない



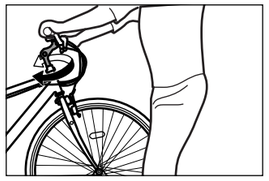
フロントフォークステムが折れて転倒によるけがのおそれがあります。

■調整後は必ず点検する



転倒によるけがのおそれがあります。

●ハンドルの点検

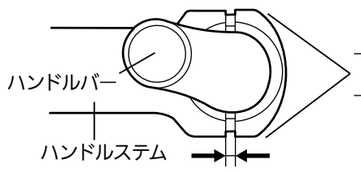


左右に強く力を加えても、動かないこと。

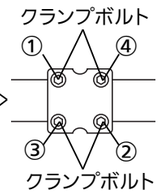
ハンドルステムの割溝から見て、フロントフォークステムの上部が上側のクランプボルトよりも上に出ていること。

●ハンドルバーの締付け（ご購入店に依頼されることをお勧めします。）

4 mm 六角棒レンチで、上下のすき間が均等になるように、上下のクランプボルトを①→②→③→④の順に対角線上を 2 ～ 3 回に分け交互に締付けてください。



上下のすき間が均等になるように



締付トルク
5 N･m
{50 kgf･cm}

●ハンドルステムの締付け（ご購入店に依頼されることをお勧めします。）

① 4 mm 六角棒レンチで、ハンドルステムクランプボルトを締付けてください。（2 ボルトタイプ）そのとき、ハンドルステムの割溝から見て、フロントフォークステムの上部が、上側のハンドルステムクランプボルトよりも上に出ていることを確認してください。

アンカーボルト　締付トルク
2.5 N･m {25 kgf･cm}

クランプボルト　締付トルク
10 N･m {100 kgf･cm}

②ヘッド小物のガタ・回転が重いときは、ハンドルステムクランプボルトをゆるめてからアンカーボルトで調整してください。
③ハンドルの高さ調節は付属のスペーサーをハンドルステムの上下に組替えすることにより調節してください。
④ヘッドの回転が適正になったら、元通りハンドルステムクランプボルトを 2 ～ 3 回に分け交互に締付けてください。

乗るまえの点検と調整(3)

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

■ブレーキの調整(販売店に依頼してください)

⚠警告

■ブレーキレバーの遊びが大きいままや、小さいままで走行しない

ブレーキが効かなくなったり、効き過ぎたりすることがあり、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。
●ブレーキが効かないときやブレーキレバーの遊びが不適切なときは、すぐに販売店で点検を受けてください。

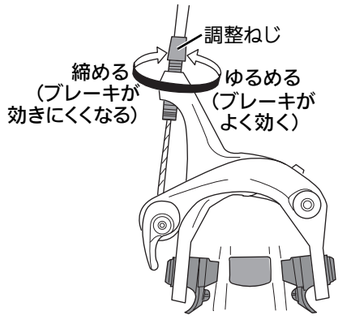
■ブレーキ操作の練習を充分行なう

強くレバーを握ると、ブレーキの効きすぎによる前転倒等によるけがのおそれがあります。
●時速 10 km/h 程度で、繰り返しブレーキ操作を練習し、ブレーキ特性を充分体得されてから徐々に速度を上げてください。

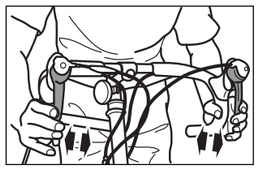
※下記はブレーキの調整ねじを使用した応急的な調整方法です。販売店でブレーキワイヤを張り直すなど、点検・再調整を行ってください。

●ブレーキの遊び調整

①調整ねじを回す。
②走行してブレーキの効きを確認する。

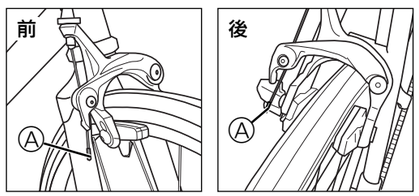


●ブレーキレバーとにぎりの間隔



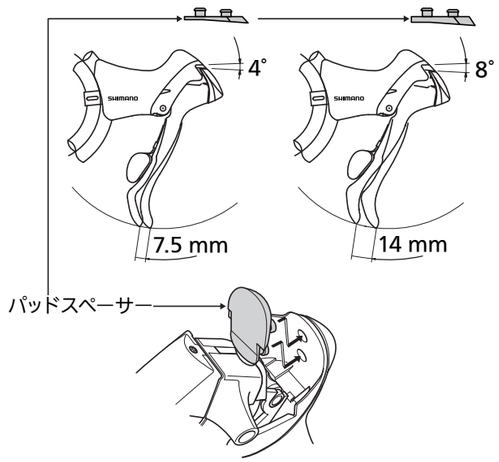
通常の力で引いて、レバーとにぎりの間隔が 2 cm ～ 3 cm あること。(前後とも)

●ブレーキワイヤ(前後とも) の点検



ワイヤが切れかかっていないこと。
ワイヤの先端 Ⓐ に、キャップがついていること。

●パッドスペーサー〈PSL〉



握り幅を広げたいときは、付属のパッドスペーサー(4°)と交換してください。出荷時にはパッドスペーサー(8°)が組み付けられています。

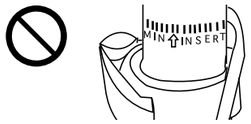
お願い

●パッドスペーサーの交換は販売店に依頼してください。

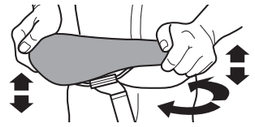
■サドルの高さ調整

⚠警告

■はめ合せ限界標識が見えるまで上げない



■調整後は必ずがたつきやずれがないか点検をする

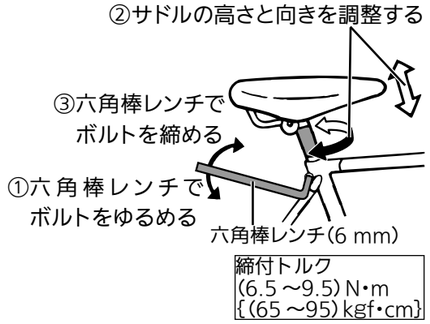


シートポストが折れて転倒によるけがのおそれがあります。

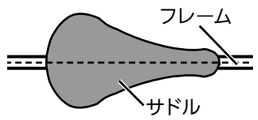
■サドルの上面が傾いたまま走行しない

サドル固定ボルトが折れたり、固定が不安定になり、転倒によるけがのおそれがあります。

●高さと向きの調整

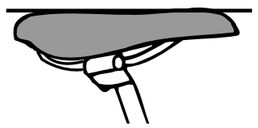


●正しい方向



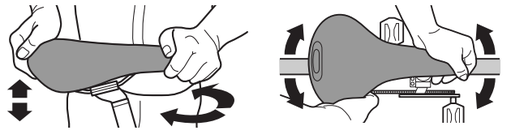
フレームと平行に合わせる。

●正しい角度



サドルの上面と地面を平行にする。

●サドルの点検



上下・左右交互に強い力を加え、がたつきやずれがないこと。

お願い

●さび付きを防止するために、シートポスト(立パイプに挿入されている部分) に、薄くグリスを塗ってください。
●サドル上面が傾いたままご使用されますと、サドル固定ボルトが折れる場合がありますので、正しく調整してください。
●角度の調整は販売店にご依頼ください。

■チェーンの調整(販売店に依頼してください) 〈PSLS〉

⚠警告

■チェーンがたるんだまま走行しない

チェーンのたるみが大きくなると、走行時にチェーンが外れやすくなり、転倒や衝突によるけがの原因になります。

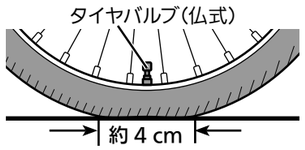
乗るまえの点検と調整(4)

日常、必ず実施する習慣をつけましょう。

■タイヤ（前後とも）

●適正な空気圧

自転車に乗った状態で接地部の長さが、約 4 cm になる程度が、適正空気圧(840 kPa)です。圧力計のついたポンプでは、空気圧の測定が可能です。



お知らせ

●空気圧が少ないとパンクや、タイヤ、リム、スポークを損傷させる原因になります。
●長期間使用しない場合は、空気圧は自然に減ります。
●タイヤバルブの型式は、仏式です。

●空気の入れ方

自転車用の手押しポンプを使って空気を入れます。
圧力計のついたポンプでは、タイヤ側面の空気圧表示を目安にしてください。

仏式バルブの扱い方

プランジャーナット

この部分は細いので折らないようにご注意ください。

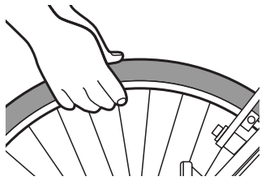
プランジャーナットを 3 ～ 4 回転ゆるめ、プランジャーナットを押して、空気を少し抜いてから空気を入れてください。

アダプター (後タイヤバルブにセットしてあります) を使えば、一般の英式口金の高圧手押しポンプが使えます。

お願い

●空気を入れ終わったらプランジャーナットを必ず閉めてください。

●タイヤの点検



切傷や亀裂がないこと。
摩耗していないこと。

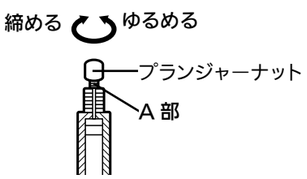
〈参考〉タイヤ側面の空気圧表示

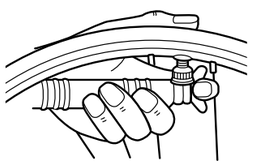
kPa 表示	840
(PSI 表示)	120
{kgf/cm² 表示}	8.4

※ (PSI 表示) と{kgf/cm² 表示} は、参考として示したものです。

●フレームポンプ(インフレーター) を使用される場合

プランジャーナットを反時計方向に回してゆるめ、プランジャーナットを押して、空気を少し抜いてから、ポンプをさしこみます。（後車輪の場合は、タイヤバルブにセットしているアダプターを外してから）この時、A 部は細いので折らないようご注意ください。



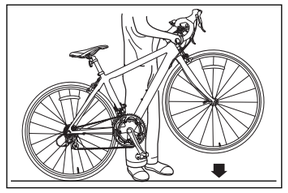


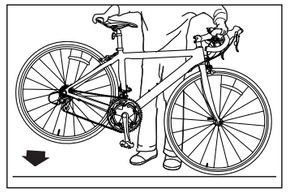
お願い

●空気を入れ終わったらプランジャーナットを必ず閉めてください。

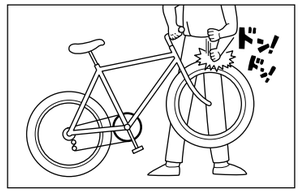
■各部のゆるみ

●車輪の締めつけ部



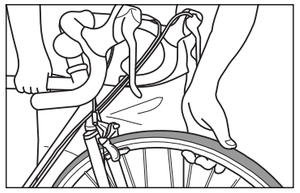


車輪を 10 cm 程度持ち上げて地面に落とし、車輪などの締めつけ部にがたつきがないこと。（前後とも）



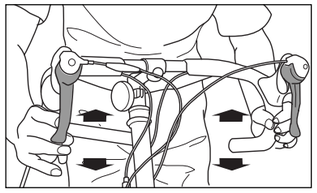
車輪を浮かせ強くたたいても、がたつきがないこと。

●車輪の振れ



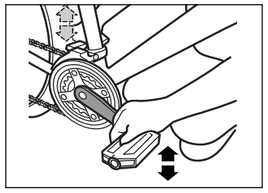
少し持ち上げ回転させ、上下左右に大きくふれないこと。

●ハンドルバー



バーを手で持って、上下に強く力を加えても、動かないこと。

●ギヤクランク

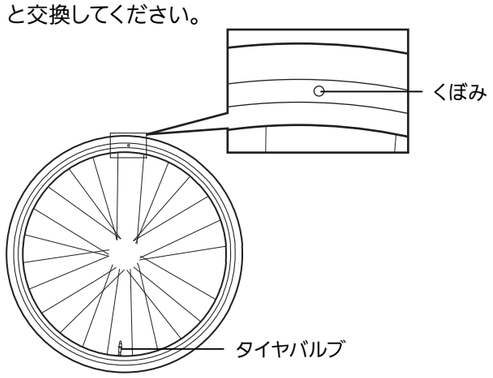


左右交互に力を加えても、がたつかないこと。
スムーズに回転すること。

■リム(前後とも)

●リム交換の目安

タイヤバルブの反対側についているくぼみがリムの摩耗目安表示です。このくぼみが見えなくなったら新しいリムと交換してください。



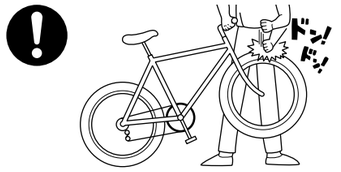
お願い

●リムの交換は販売店に依頼してください。

■車輪の着脱方法（クイックレリーズハブ）〈PSL〉

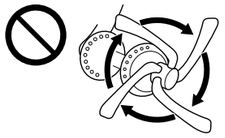
⚠警告

■車輪固定確認（取付後は外れないか確認する）



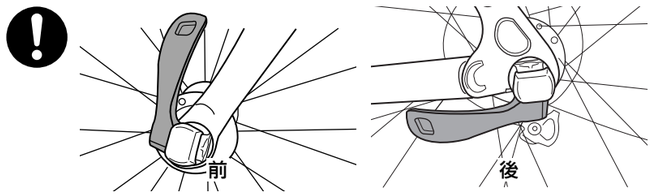
車輪が外れて、転倒によるけがのおそれがあります。

■フレームに車輪を固定するとき、カムレバーを回転させない



クイックレリーズのカム機構が動かなくなり、車輪が外れて転倒によるけがのおそれがあります。

■前カムレバーはフロントフォークにそわせて、後カムレバーは進行方向に倒す

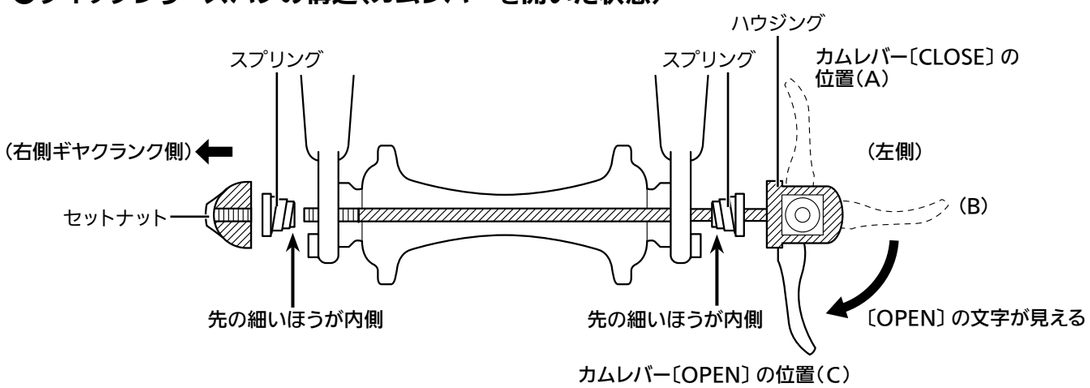


走行中、障害物に接触するとロックが解除されて、転倒によるけがのおそれがあります。

お願い

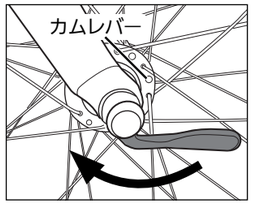
●初めてクイックレリーズハブを使われる方は、販売店から説明を受けながら実際に操作し、よく練習してから行ってください。操作後は車輪が外れないか確認してから乗車してください。

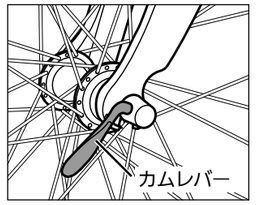
●クイックレリーズハブの構造（カムレバーを開いた状態）

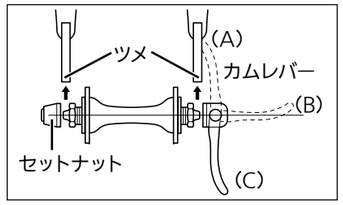


●外し方

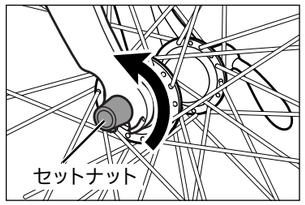
①カムレバーの OPEN の刻印が見える位置（C）へ倒す。



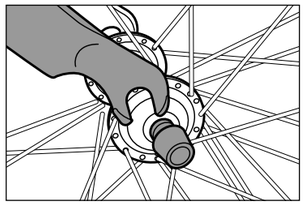




③セットナットをゆるめる。

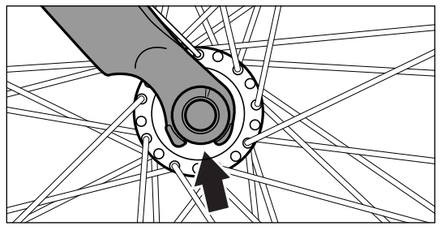


④前車輪を外す。

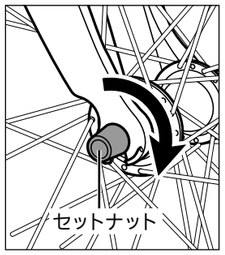


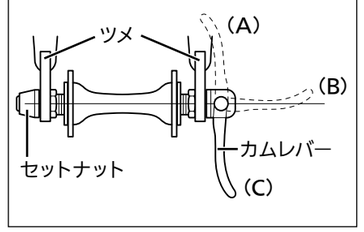
●取付け方

①カムレバーをゆるめ（C）の状態にして、フロントフォークのツメの奥までしっかりとはめこむ。
※カムレバーは自転車の左側です。

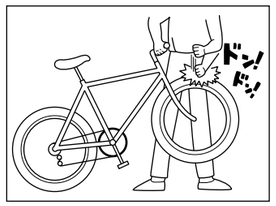


②カムレバーを半分ぐらい閉じた位置（B）位で、固くなるようセットナットを締めて調整する。

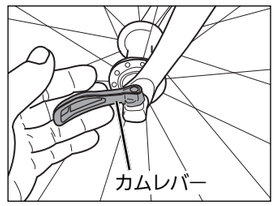




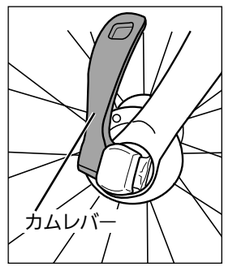
③カムレバーを OPEN の位置（C）にした状態で、前車輪を浮かせ強くたたき外れないか確認する。

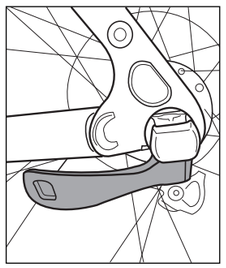


④カムレバーの CLOSE の刻印が見える位置（A）へ手のひらが痛くなるくらい力いっぱい強く倒す。



⑤前カムレバーを進行方向と逆方向に、後カムレバーは進行方向に倒す。





押し力：(5 ～7.5) N•m｛(50 ～75) kgf•cm｝

お知らせ

●後車輪を取り外しするときも前車輪と同様の手順で行ってください。、チェーンをトップギヤに入れると外しやすくなります。

正しい取扱い方法(2)

わからないときは、販売店にご相談ください。

■ブレーキのかけかた

⚠警告

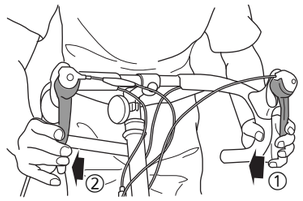
■雨天時や下り坂ではスピードを出さない

ブレーキが効きにくく、スリップしやすいため、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

■前ブレーキのみを強くかけすぎない

車輪がロックし、自転車が前方に転倒し、けがのおそれがあります。

①後ブレーキを先にかけてから
②前ブレーキをかける。



お願い

●急な坂道のときは、降りて押してください。
●下り坂のときは、適時ブレーキをかけながら速度がですぎないように走行してください。
●下り坂の手前では、ブレーキテストを行ってください。
●急ブレーキをかけなくてもよいように、いつも前方に注意してください。

■乗車について

⚠警告

■乗車したまま段差の上り下りはしない(車道から歩道への段差等)

車体や車輪が損傷し、転倒によるけがのおそれがあります。
●自転車から降りて、押してください。

お知らせ

●各部が変形したり、破損するおそれがあります。

■変速のしかた〈PSL〉

⚠警告

■スピードをだしすぎない

標準常用速度
15 km/h ～24 km/h

衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

お願い

●変速操作は、よく練習してください。
●シフトレバーを無理に操作させる変速はしないでください。(変速機を傷める原因になります。)

■変速機の表示とギヤの位置〈PSL〉

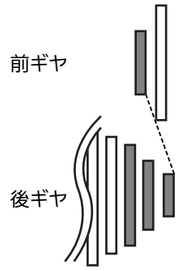
⚠警告

■漕ぐ力を抜いて、ペダルを空転気味に軽く回転させながら変速操作をする

間違った変速操作をすると事故や故障によるけがのおそれがあります。
●初めて変速機を使われる人は、よく練習してください。

■次のような変速はしない

●ペダルを止めたままの変速
●ペダルを逆転させながらの変速
●一気に 2 段以上の変速
●停止しているときの変速
●ペダルを強く踏みこみながらの変速
●レバーを無理に操作する変速
●前後同時の変速
●前をトップ、同時に後をローにする変速
●前がロー、同時に後をトップにする変速



事故や故障によるけがのおそれがあります。
●チェーンが図の位置にある場合、チェーンと前ギヤあるいはフロントディレーラが接触して音鳴りが発生する場合があります。音鳴りが気になる場合は、後ギヤを 1 ～2 段大きいギヤに変速してください。

お願い

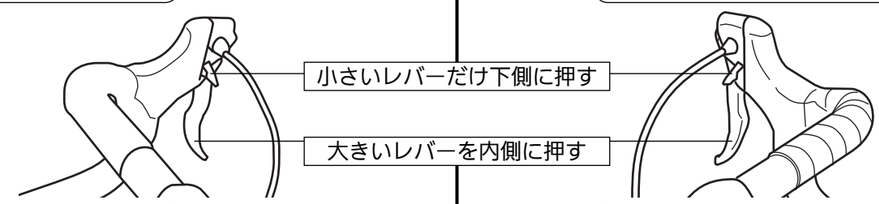
●スムーズに変速ができるか確認し、調子が悪いときは販売店にご相談ください。

●左レバー(前変速機／2 段)

ペダリングが軽くなる
2 → 1

●右レバー(後変速機／8 段)

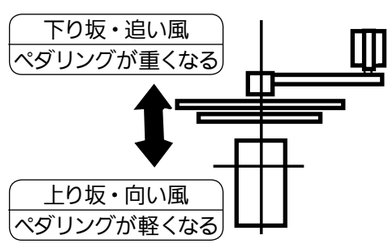
ペダリングが重くなる
1→2→3→4→5→6→7→8



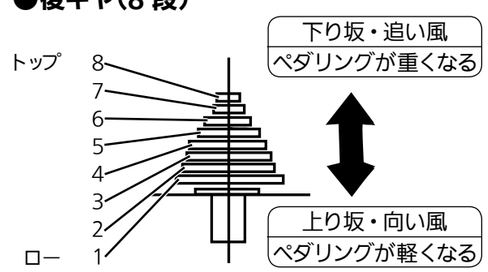
ペダリングが重くなる
1 → 2

ペダリングが軽くなる
8→7→6→5→4→3→2→1

●前ギヤ(2 段)



●後ギヤ(8 段)

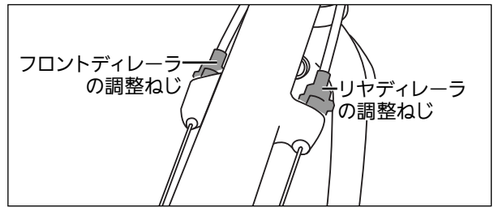


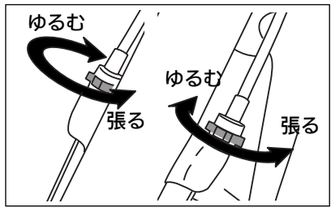
正しい取扱い方法(3)

わからないときは、販売店にご相談ください。

●ディレーラワイヤの調整(調整は販売店にご依頼ください)

ディレーラワイヤの調整ねじが、下パイプの上部の左右にあります。





●トリム操作(音鳴り解消操作)

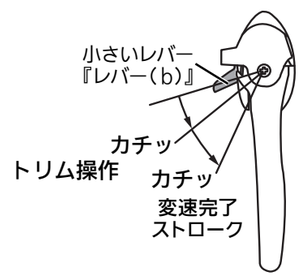
変速操作後チェーンの位置によっては、フロントディレーラの外プレートあるいは内プレートとチェーンが接触して、音鳴りが発生する場合があります。この様な症状が出た場合に、大きいレバー『レバー(a)』あるいは小さいレバー『レバー(b)』をわずかに操作して、フロントディレーラを少し移動させて接触を解消する操作を、トリム操作と呼びます。チェーンが、大・中間・小いずれかのギヤにあるときでもトリム操作は行えます。チェーンが下および次ページの表の位置にあって音鳴りが発生した場合は、トリム操作を行って音鳴りを解消します。

チェーンの位置	症　状	トリム操作	
		レバー操作	フロントディレーラの動き
小ギヤ トップ側ギヤ	外プレートとチェーンが接触 フロントディレーラ外プレート チェーン	大きいレバー レバー（a） カチッ (あたりがある)	トリム操作 トリム操作前　トリム操作後 フロントディレーラの動き チェーン

チェーンの位置	症　状	トリム操作	
		レバー操作	フロントディレーラの動き
大ギヤ ロー側ギヤ	内プレートとチェーンが接触 フロントディレーラ内プレート チェーン	小さいレバー レバー（b） カチッ (あたりがある) 機種により異なります。	トリム操作 トリム操作前　トリム操作後 フロントディレーラの動き チェーン

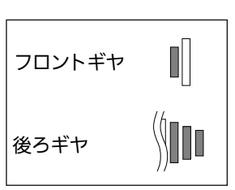
レバーの操作

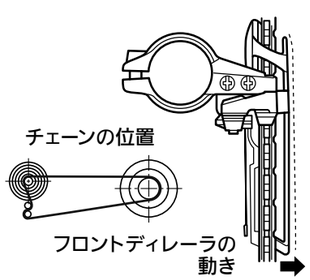
小さいレバーを操作すると、まずトリム操作あたりがカチッとあり、次のあたりが変速完了ストロークとなります。トリム操作後はトリム操作のあたりはなくなり、変速完了ストロークのあたりのみとなります。



●トリム操作(音鳴り解消機構)

チェーンポジションがフロント小ギヤ、リヤ小ギヤでフロントディレーラ内プレートとチェーンが接触し、音鳴りが発生した場合に行います。大きいレバー『レバー(a)』を軽く押す(カチッとあたりがある)とフロントディレーラがわずかに大ギヤ方向へ移動し、音鳴りが解消されます。





正しい取扱い方法(4)

わからないときは、販売店にご相談ください。

■変速機の上手な使いかた

（標準的な変速位置を示していますが、自分の体調や脚力にあわせ、適切な変速位置をお選びください。）

発進するとき

左シフトレバーを 2、

右シフトレバーを 2 または 3 に合わせる。

●前後左右の安全を確認してから発進する。（停車中は変速できません。止まるまでに発進に適した変速位置に切替えてください。）

平地を走るとき

左シフトレバーを 2、

右シフトレバーを 4 または 5 に合わせる。

上り坂のとき

坂の手前で…

左シフトレバーを 1、

右シフトレバーを 1 または 2 に合わせる。

●急な坂道のとき⇒降りて押す。

下り坂のとき

坂の手前で…

左シフトレバーを 2、

右シフトレバーを 6 または 7 に合わせる。

●急な坂道のとき⇒降りて押す。

停止するとき

停止する手前で…

左シフトレバーを 2、

右シフトレバーを 2 または 3 に合わせる。

次の発進が楽になります。

●後ブレーキを先にかける。

■ バッテリーランプの取扱い

⚠警告

■ランプの取付がゆるんだまま、走行しない

照射位置がくるい、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

●乗る前に点検してください。

■目に光を当て続けない

目を痛める原因となります。

■夜間や視界の悪いときは無灯火や点滅モードで乗らない

衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

●ランプがつかないときは、押して歩いてください。無灯火や点滅モードでの夜間乗車は、法令違反になります。

■走りながら、スイッチの操作をしない

片手運転になり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

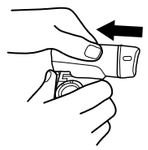
●一旦停止して、操作してください。

●取付、取外し方

ボタンを押しながら前後にスライドさせて取付、取外しをします。

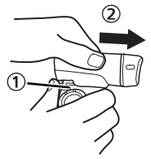
取付方

①ランプをガイドに合わせてスライドさせ「カチッ」と音がするまで後方に押し込む。



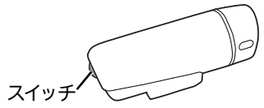
取外し方

①ボタンを押しながら
②前方に引き抜く。



●点灯のしかた

お好みのモードにスイッチを操作します。



●スイッチは 1 回押すごとに点滅⇒標準点灯⇒強点灯を繰り返します。

●スイッチを 1 秒以上長押しすると消灯します。

●消灯後はスイッチを押すと、消灯させたときのモードから開始します。

※長押しても ON にはなりません。

●照らす位置

お願い

●角度の調整は販売店にご相談ください。

●電池の交換方法

①前ベースをはずし、電池ホルダーを引き出します。

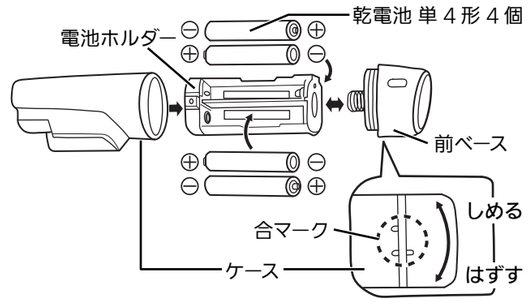
②電池を極性に注意しながら電池ホルダーに入れます。

③電池ホルダーをケースに入れます。

※方向性があります。逆には入りません。

④前ベースをしめます。

※前ベースとケースのマークを合わせ次のマーク(カチット感がある) までしっかりしめます。



お知らせ

●使用時間の目安は、標準点灯 24 時間(アルカリ電池使用時) です。

●内部の LED は基板直付のため交換はできません。

●出荷時はモニター電池を入れておりますので、お早めに電池の交換をお勧めします。

お願い

●取り替えた電池は、地域で定められた条例に従って、処理してください。

正しい取扱い方法(5)

■乾電池の取扱い

⚠危険

■電池の電解液が目、皮膚、衣服に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受ける

失明やけがのおそれがあります。

⚠警告

■乾電池は次のような使い方をしない

- ●充電しない
- ●電池を火の中に投入しない
- ●新旧・異種の電池を混用しない
- ●電池をショートさせない
- ●電池の⊕⊖を逆にして使用しない
- ●使用済電池を使用しない

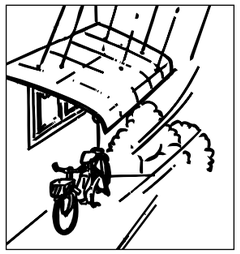
使い方を誤ると、電池が発熱・液もれ・破裂したり、けがのおそれがあります。

■幼児用座席のご使用について

●この自転車に幼児用座席を取付けることはできません。

保管／廃棄

保 管 ／ 廃 棄



■ 保管場所は、

●安定のよいところ、直射日光が当りにくいところ、雨がかかりにくい場所に保管してください。

●雨がかかるところでは、市販の「サイクルカバー」のご使用をおすすめします。
※長期保管後、再使用される場合は、販売店で点検・調整のうえ、ご使用ください。

■廃棄するときは、

●自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。

■タイヤの管理

●空気を適正空気圧まで入れてください。(☞ 16 ページ)

お手入れ／注油について

お手入れ

■日常のお手入れは、

●乾いた布やブラシで、泥や土、ほこりを落としてください。
●がんこな汚れには、台所用洗剤（中性）を薄めてご使用ください。

■汚れがひどいとき

●水洗いし乾燥させた後、各部に注油してください。
●注油禁止場所には注油しないでください。（☞ 29 ページ）

■塗装部（フレーム体など）

●乾いた布でよく磨き、自動車用のワックスをかけ、乾いた布でふき取ってください。

■めっき部（ディレーラなど）

●乾いた布でよくふいたあと、「さび止め油」か「ミシン油」でふき、余分な油をふき取ってください。

■湿気の多い所や海岸沿いは、

●さびやすいので、お手入れの回数を、多くしてください。

■アルミリム使用車

●雨天走行後は、前リム側面のブレーキブロック接触面の砂や泥をふき取ってください。（黒く変色するのを防ぎます。）

■ステンレス部品

●ステンレスはさびにくい金属ですが、使用条件や環境によってさびることがあります。下記の点にご注意の上ご使用ください。
　○付着した鉄粉などがさびることによってステンレス自身もさびる「もらいさび」が発生しますので、お手入れを頻繁に行ってください。（例：鉄道や鉄工所の近辺での保管車、後車輪周りのステンレス部品等）
　○ステンレスは塩素にも弱く、さびることがあります。塩分や塩素系の洗浄剤が付着したときは、乾いた後でもさびが発生しますので、水を含ませた布等でしっかりふき取ってください。

お願い

●シンナー等の有機溶剤は、使用しないでください。（塗装がはげたり、樹脂製部品が浸食されます。）
●サドルには、ワックスをかけないでください。（座ったとき衣服が汚れたり、すべります。）

お知らせ

●軽合金（アルミ）リムに、ブレーキブロックのゴムが付着する場合がありますが、性能には影響ありません。

注油について

⚠警告

■リムやブレーキブロック（ゴム部）には、油をつけない

注油禁止

ブレーキが効かなくなり、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

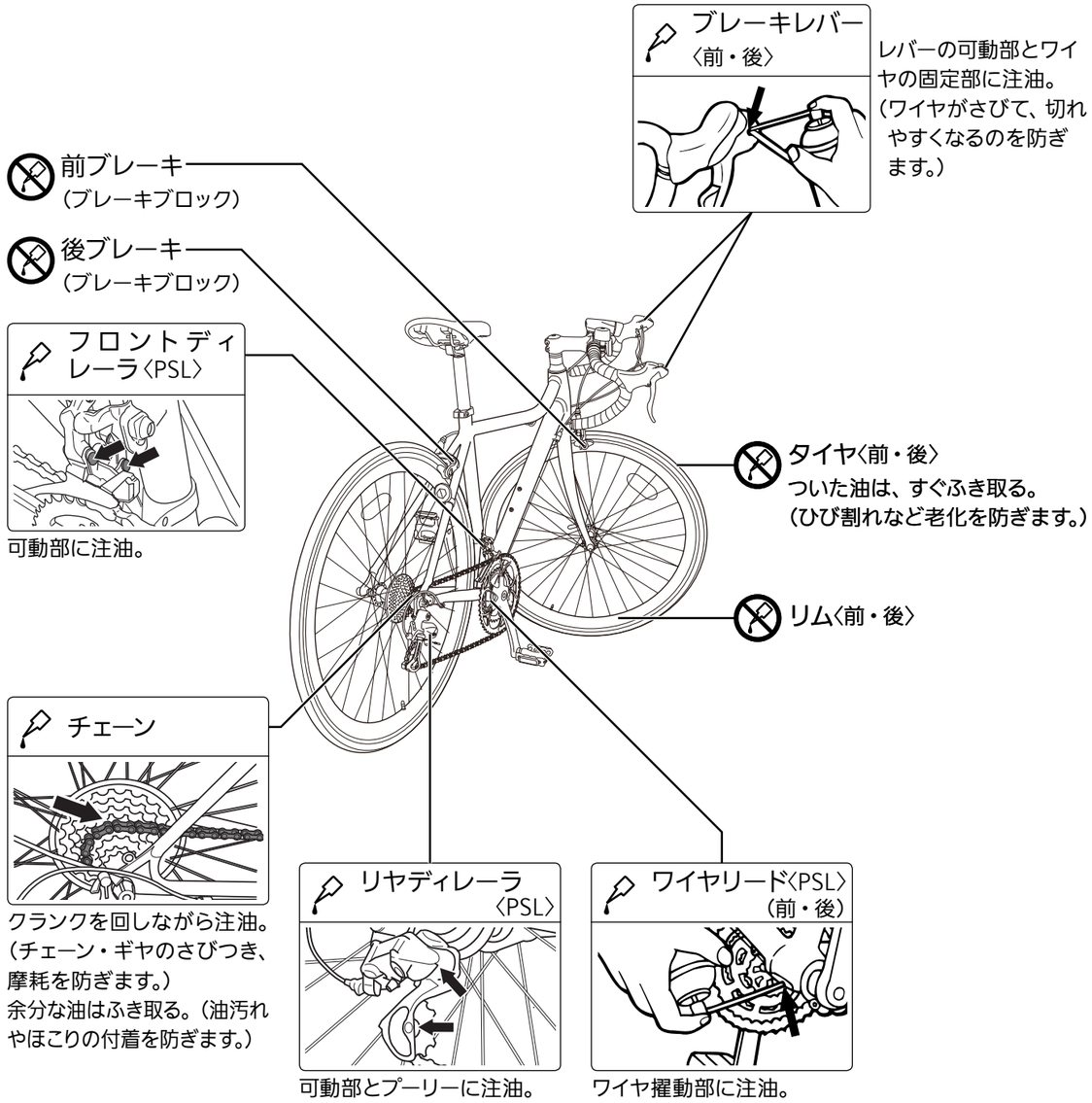
注油場所と注油禁止場所

このマークは、注油場所を示します。

このマークは、注油禁止場所を示します。

お願い

●油の種類は、必ず、自転車用油を使用してください。（食用油などは、硬化するおそれがあります。）
●余分な油は、乾いた布でふき取ってください。



定 期 点 検

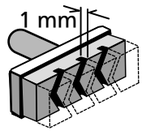
⚠警告

■定期点検は、必ず実施する

異常や故障の発見がおくれ事故発生によるけがのおそれがあります。

■部品の交換は、次の基準で実施する

●ブレーキワイヤ・変速ワイヤは、異常がなくても 2 年に 1 回は、交換する。
●タイヤは、接地面（トレッド）の溝がなくなる前に交換する。
●ブレーキブロックは、溝の残りが、1 mmになる前に交換する。
●ブレーキブロックは、リムにあった純正ブレーキブロックに交換する。



ブレーキが効かなくなったり、スリップのため転倒によるけがのおそれがあります。

点検と整備は、自転車の大切な健康診断です。
いつまでも安全にお乗りいただくために、ご使用後初めての初回（2 ヵ月以内）点検と、6 ヵ月毎の定期点検の実施をお願いします。（裏表紙の点検・整備チェックリストにて、実施をお願いします。）

●初回（2 ヵ月以内）の点検と整備

お買い上げ 2 ヵ月位のご使用で、各部にねじのゆるみが出ることがあります。
必ず、お買い求めの販売店または修理代行店で、自転車安全整備士、自転車技士（自転車組立整備士）、もしくはそれと同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

● 2 回目以降（6 ヵ月毎）の点検と整備

安全にご愛用頂くため、必ず継続してお受けください。

盗 難 補 償

盗難補償制度とは、自転車をお買い上げいただいたお客様を対象に、ご購入日より 1 年以内に盗難にあわれた場合、盗難車の希望小売価格（税込）の 60 パーセントで、盗難車と同タイプの新車をお買い求めいただくことができる制度です。制度の詳細は下記の通りです。

ご購入時、保証書のお客様欄に必要事項をご記入され、保証書のメーカー控（返送用）を返送日付をご記入の上、パナソニック サイクルテック保証書返送係にご返送いただいたお客様に限り、次の内容により盗難補償がうけられます。

（1） 盗難補償の期間と範囲

お買い上げの日から1年間以内の自転車（別売部品等を含む装着部品の盗難は除く）かつ、
盗難日より 90 日以内に申し込みいただいた場合に限ります。

（2） 盗難補償の申込み要領

万一、盗難にあわれた時は、自転車保証書と盗難にあった地区の警察署から交付を受けた証明になるもの（警察受理ナンバーまたは盗難届出証明書等）に、盗難車の希望小売価格（税込）の 60 パーセントの現金を添えて、お買い上げの販売店へお申し込みください。
追って、販売店から新車をお渡しします。

（3） 盗難補償できない場合

①施錠せず盗難にあった場合
②（2）の書類がそろわない場合
③補償期間が過ぎている場合
④盗難補償車が、再度、盗難にあった場合
⑤防犯登録がされてない場合
⑥盗難車が見つかり、返ってきた場合
⑦景品などの贈呈品の場合
⑧保証書のメーカー控（返送用）が返送されていない場合

ご注意

●生産等の都合で、同タイプの自転車をお届けできない場合がありますことをご了承願います。
●新車をお渡しした時点より、盗難車の所有権は弊社に帰属します。

アフターサービス（修理を依頼されるとき）

●保証期間中は、	▶	お買い上げの販売店が、保証書の規定に従って、修理させていただきます。おそれいりますが、自転車に保証書を添えて、お買い上げの販売店までお持込みください。
●保証期間が過ぎた後は、	▶	お買い上げの販売店にご相談ください。

自転車安全基準／スポーツBAAマーク

この自転車は（社）自転車協会が定めた自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。

スポーツ用自転車安全基準

「スポーツ用自転車安全基準」は、（社）自転車協会がEN規格（ヨーロッパ規格）をベースに日本独自の道路事情や体格差等を勘案して項目の一部を変更、また、ヨーロッパの環境負荷物質に関する規制（RoHS指令）を踏まえて、消費者の安全第一と環境負荷の低減を目的として定めた基準です。

SBAAマーク

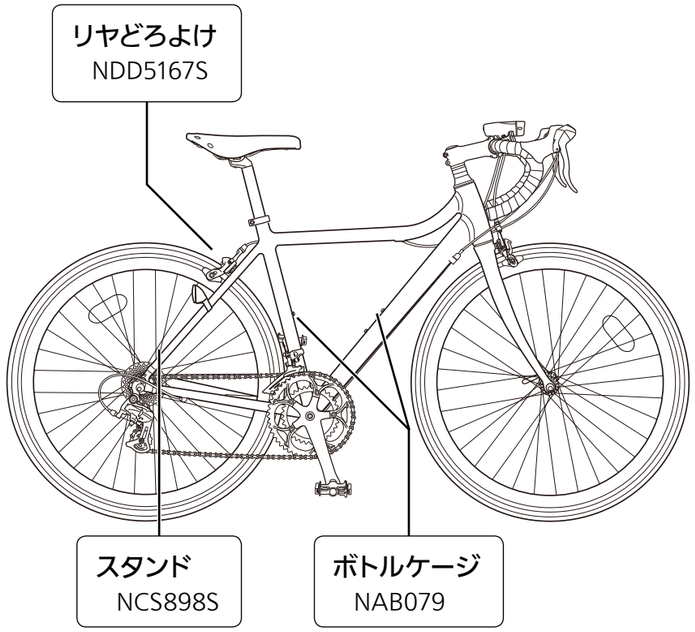
SBAAマークが貼付されたスポーツ用自転車は、安全で快適な自転車を目標に、社団法人自転車協会が定めたスポーツ用自転車安全基準に基づく型式検査に合格した適合車です。
SBAAマークは、自転車のフレームに貼付されています。

※ SBAA= 自転車協会認証ー SPORTS BICYCLE APPROVED BY BICYCLE ASSOCIATION (JAPAN)

オプション 別売部品

取付けのポイント

●安全にご乗車いただくため、必ず当社の純正部品をご使用ください。
（当社の純正部品以外をご使用になり、不具合が生じた場合は、保証の対象外になります。）
●オプション部品の品番は都合により変更することがありますので、取付けの際に、販売店にご確認ください。
（掲載している品番は2010年8月 現在のものです。）
●価格等詳細については、販売店にご相談ください。

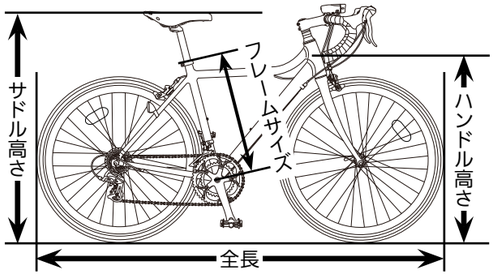


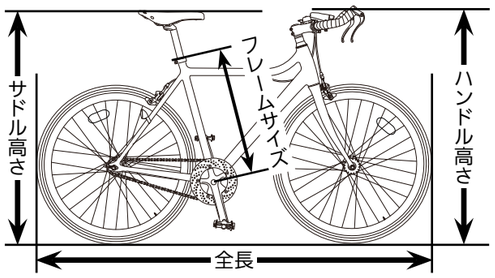
仕　様

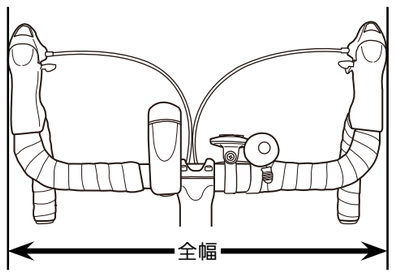
品　番		B-PSL48	B-PSL53	B-PSLS48	B-PSLS53
寸法	フレームサイズ	480 mm	530 mm	480 mm	530 mm
	全　長	1660 mm	1670 mm	1665 mm	1675 mm
	全　幅	435 mm		425 mm	
	ハンドル高さ	760 mm～780 mm	780 mm～800 mm	950 mm～970 mm	970 mm～990 mm
	サドル高さ	810 mm～950 mm	860 mm～1000 mm	810 mm～950 mm	860 mm～1000 mm
フレーム		アルミ / ダイヤモンド形			
ハンドルバー		ドロップバー		ブルホーンバー	
変速機		デュアルコントロールレバー式（前 2 段 / 後 8 段）		—	
フロントフォーク		アルミ			
ブレーキ		サイドプル式キャリパーブレーキ			
錠仕様		ディンプル式ワイヤ錠			
リム		アルミ　32/32 H			
タイヤチューブ		仏式			
タイヤ (前後)		700 × 23 C			
装着可能タイヤサイズ (前後)		700 × 25 C			
オプション		ボトルケージ / スタンド / リヤどろよけ			
乗車適応身長		157 cm～170 cm	168 cm～181 cm	157 cm～170 cm	168 cm～181 cm
股下サイズ		74 cm～80 cm	79 cm～85 cm	74 cm～80 cm	79 cm～85 cm
質　量		10.9 kg	11.1 kg	10.1 kg	10.3 kg

●乗車適応身長は、個人差がありますので目安としてください。
●この自転車は、全て乗員体重を 65 kg で、基本設計しています。従って、著しくオーバーした体重の方が常用された場合は、消耗度合、劣化度合が大きくなります。
●質量は、ワイヤ錠を除いた数値です。
●寸法や質量は、部品のばらつきや仕様変更等により、誤差が生じる場合があります。

■寸法について







修理・取扱い・手入れなどは **まず、お買い上げの販売店へ** ご相談ください。

商品に関する、お客様ご相談窓口（営業時間／ 9:00 ～ 20:00）年中無休

0120-781-603（フリーダイヤル）

※ IP 電話など、フリーダイヤルに接続できない場合は、以下の電話番号におかけください。

（072）977-1603（有料ダイヤル）

※取扱い店や展示店のご紹介など、販売店に関するご相談は、お住まい近くの支店相談窓口が承ります。

■支店相談窓口（営業時間／ 9:00 ～ 17:00）土・日・祝日・弊社指定の休日を除く

東北地区（青森・岩手・福島・宮城）
東日本支店東北営業所　（022）382-7791

中部・東海地区（愛知・静岡・岐阜）
中部支店　（0587）54-4111

栃木・茨城地区
東日本支店北関東営業所　（028）652-5046

近畿地区（大阪・兵庫・奈良）
近畿支店　（072）975-4100

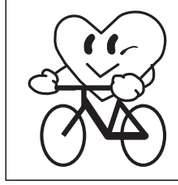
埼玉・群馬・新潟地区
東日本支店埼玉営業所　（048）723-5131

中国・四国地区（中国・四国地方全域）
中国支店広島営業所　（082）870-7776

東京・千葉・神奈川・山梨地区
首都圏支店　（042）490-5545

九州・沖縄地区（九州・沖縄地方全域）
九州支店福岡営業所　（092）671-8648

愛情点検　定期点検をし、安全走行をしましょう！



こんな症状はありませんか	●異常な音がする ●がたつきやゆるみ ●車輪の振れ ●ブレーキの効きが悪い	▶	ご使用中止	事故防止のため、必ず販売店に点検、整備を依頼してください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	
お買い上げ日	年　月　日
電　話	（　　）　—
品　番	
車体番号	
防犯登録番号	

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

パナソニック サイクルテック株式会社および関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。